

## 消費者交流

大

### 【普及活動のねらい・対象】

草津市野菜出荷連絡協議会（以下「協議会」と呼ぶ）は、関係機関で構成され、技術の統一や送風捕虫機が普及されています。

昨年度、協議会の一員である湖南中央園芸組合の女性部に対して、地産地消の推進や組合の女性部活動の活性化を目的として、消費者交流会の開催を支援しました。

参加した草津市内の消費者からは、市内の農村部の見学や生産者と交流できる機会を今後も持って欲しいという要望が出されました。

そこで今年度は、1つの出荷組織だけでなく協議会に対して消費者との交流による地産地消の促進に取り組まれるよう提案しました。

### 【普及活動の成果】

6月6日(土)に、草津市食の安全市民委員など消費者20名と、協議会の女性を中心とした生産者27名が参加して、地産地消について交流会が開催されました。

消費者には朝8時から送風捕虫機による害虫一斉生け捕りの見学と代表者による体験をしていただきました。その後、屋内で生産者と消費者それぞれの取り組みを報告し合い、相互理解を深めていただきました。当課からもIPMの取り組みの紹介や薬剤防除の必要性について理解を求めました。

交流会終了後の消費者アンケートでは、ほとんどの方から「生産現場や生産者の顔を見たり、農薬削減の取組を聞いて安心感が得られた」など、交流会参加前とは地元農業に対する見方が変わったとの回答をいただきました。なかには、安いだけの消費選択行動への反省もありました。

今回のような交流会は、参加者数が限られていることから、多くの消費者にPRすることは出来ませんでした。地元の農産物を消費者に応援してもらうための口コミの核となっただけのことと考えています。当課では、今後も消費者交流をはじめ地産地消の取り組みを支援していきたいと考えています。



交流会の様子